

大原外語ニュースレター 2011年6月号

課外活動 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

5月20日（金）、今年度初の課外活動として大阪市此花区のユニバーサル・スタジオ・ジャ



雲ひとつ無い青い空。



次は何に乗ろうかな。

パンに行きました。少々遅刻した学生もいましたが、当然のように出席率は100%！授業共々（？）、学生達はこの課外活動を楽しみにしていたようです。数名の学生は年間パス（スタジオ・ゴールド・パス。通常価格¥22,000が現在¥12,800）を購入したようです。



みんな、どこだろう？



記念撮影。さあ、遊ぼう！



ポバイは浮気者。

去年は3回（奈良、京都洛中、京都嵐山）課外活動を実施し、一度も雨に降られた事の無い大原難波校日本語学科。今回も抜けるような晴天に恵まれました。女性教員は日傘で日焼け対策も万全、学生達は日焼けなど気にせず精力的にアトラクションを回っていました。平日だったこともあり、かなり空いていたように思います。日本の修学旅行生の姿が数多く見られました。教員一同は夕刻頃には帰路についたのですが、翌日聞いてみたところ閉園間際まで残っていた学生もいたとのこと。学生達の有り余るパワーに負けないように教員一同も体力作りに励みたいと思います。

教員紹介 小川あゆみ先生

日本語学科の小川あゆみ先生のご紹介です。大原で日本語を教えて2年強。若い大原の日本語学科では既に中堅の先生で、日本語の授業はもとより、海外の皆さんとのやりとりや課外活動の立案、主任教員の忘れ物のお世話までこなす才媛です。その人となりを知るため、インタビューを試みました。



完全にカメラを意識した小川先生。

編集委員（以下「編」）：日本語の先生になったきっかけは？

小川先生（以下「小」）：う〜〜ん、ネパールで仕事がしたくて。

編：え？どうしてまたネパールだったんですか？

小：旅行であちらこちらの国を巡って気に入ったんです。で、そこで住みたい、住むためには仕事をしなきゃならない、私が仕事をするなら何だろう・・・って、完全に逆算ですね、これって（笑）。

編：へええ。その後実際にネパールに住んだんですか？

小：はい、1年ぐらいでしたけど。その後日本に戻ったんですが、結局日本語の先生を続けていますね。手段が目的になっちゃって、抜け出せなくなっています。日本語教育は奥が深いですから。

編：おお、素晴らしい。それでは最後に、全ての日本語学習者に一言！

小：言葉はすぐに上手にはなるものじゃありません。でも、それで普通です！地道な努力と一歩踏み出す勇気があれば、きっとあなたの日本語ライフに明るい未来が待っています！

力強い一言でインタビューを締めくくった小川先生。学生達の良きお姉さんとして頑張ってください！

日本語学科 6月の予定

大原学園難波校日本語学科の6月の予定は以下の通りです。

6月15日（水） 中間試験
6月20日（月）～ 日本語能力試験対策授業